

第 27 号議案

平成 31 年度京都府立高等学校第 1 学年生徒募集定員について

京都府教育委員会基本規則第 17 条第 1 項第 6 号の規定により、別紙のとおり提出します。

平成 30 年 8 月 23 日

教育長 橋本 幸三

提出の理由

京都府立学校の管理運営に関する規則第 32 条の規定により、平成 31 年度京都府立高等学校第 1 学年生徒募集定員を定めようとするものである。

京都府教育委員会告示第●号

京都府立学校の管理運営に関する規則（昭和62年京都府教育委員会規則第8号）第32条の規定により、平成31年度京都府立高等学校第1学年生徒募集定員を別表のとおり定める。

平成30年8月31日

京都府教育委員会
教育長 橋本 幸三

別表

1 全日制の課程の募集定員

(1) 全日制の課程（単位制による課程を除く。）

ア 普通科

(単位 人)

通学圏名	高等学校名	募集定員
京都市・乙訓	山城	320
	鴨沂	240
	北稜	280
	朱雀	200
	洛東	240
	鳥羽	200
	嵯峨野	120
	北嵯峨	280
	桂	280
	洛西	280
	桃山	280
	東稜	240
	洛水	200
	向陽	200
	乙訓	200
	西乙訓	200

(単位 人)

通学圏名	高等学校名	募集定員
山城	東宇治	280
	菟道	280
	城陽	320
	西城陽	280
	久御山	240
	田辺	200
	木津	200
	南陽	240
	北桑田	60
口丹	亀岡	200
	園部	100
	須知	60
	綾部	180
中丹	福知山	160
	東舞鶴	160
	西舞鶴	200
	宮津	130
丹後	加悦谷	80
	峰山	160
	網野	74
	合 計	7,364

備考1 東宇治高等学校の募集定員については、京都市・乙訓通学圏及び山城通学圏を併せた定員である。

なお、京都市・乙訓通学圏から入学できる者は28人以内とし、前期選抜に志願する場合に限るものとする。

2 北桑田高等学校の募集定員については、京都市・乙訓通学圏及び口丹通学圏を併せた定員である。

なお、京都市・乙訓通学圏から入学できる者は12人以内とし、前期選抜に志願する場合に限るものとする。

3 口丹通学圏、中丹通学圏及び丹後通学圏の高等学校にあつては、口丹通学圏、中丹通学圏及び丹後通学圏から当該高等学校の通学圏を除いた2通学圏から入学できる者は、それぞれ表示定員の100分の20以内とし、前期選抜に志願する場合に限るものとする。

イ 普通科（スポーツ総合専攻）及び普通科（美術・工芸専攻）

(単位 人)

通学圏名	学科名	合計	普通科 (スポーツ総合専攻)	普通科 (美術・工芸専攻)
	高等学校名			
京都市・乙訓 口 丹	鳥 羽	40	40	
	亀 岡	40		40
山 城	西城陽	40	40	
	久御山	40	40	
中 丹 丹 後	綾 部	40	40	
合 計		200	160	40

備考1 鳥羽高等学校及び亀岡高等学校の募集定員については、府の区域の全部を併せた定員であり、京都市・乙訓通学圏及び口丹通学圏以外の通学圏から入学できる者は、それぞれ20人以内とする。

2 西城陽高等学校及び久御山高等学校の募集定員については、府の区域の全部を併せた定員であり、山城通学圏以外の通学圏から入学できる者は、それぞれ20人以内とする。

3 綾部高等学校の募集定員については、府の区域の全部を併せた定員であり、中丹通学圏及び丹後通学圏以外の通学圏から入学できる者は、20人以内とする。

ウ 普通科総合選択制

(単位 人)

通学圏名	高等学校名	募集定員
山 城	京都八幡	200
口 丹 中 丹 丹 後	大 江	60
合 計		260

エ 農業に関する学科

(単位 人)

学科名 高等学校名 (分校名)	合 計	エ植	ビ園	園シ	リ森	科科(農業 ・農産 環境バ イオ 緑地)	農 業 学 科 群	食 品 科 学 科	農 芸 化 学 科	農 業 科	園 芸 科	農 園 芸 科
		イ物 トク 科リ	ジネ ス 科芸	芸 テ 科ム	チ 科林							
桂	80	40	40									
木 津	40			40								
北 桑 田	30				30							
農 芸	110					110						
須 知	40							40				
綾部(東)	60								30	(30)	(30)	
峰山(弥栄)	(40)											(40)
合 計	(40) 360	40	40	40	30	110	40	30	(30)	(30)	(40)	

備考1 農芸高等学校の農産バイオ科及び環境緑地科については、農業学科群での募集とする。

2 綾部高等学校の括弧内の募集定員については、農業科及び園芸科を併せた定員であり、それぞれの学科の定員は15人を標準とする。

3 峰山高等学校の括弧内の募集定員については、農園芸科及び家政科を併せた定員であり、農園芸科の定員は20人を標準とする。

オ 工業に関する学科

(単位 人)

高等学校名	学科名	合計	工学探究科	機械技術科	電気技術科	自動車科	ノロジック	機械技術科	ロボツト科	電気技術科	デザイン科	環境科	情報技術科	建築科	機械創造科
田 辺		130	40	30	30	30									
工 業		180					36	36	36	36	36	36			
宮 津		30												30	
峰 山		30													30
合 計		370	40	30	30	30	36	36	36	36	36	36	36	30	30

カ 商業に関する学科

(単位 人)

高等学校名	学科名	合計	起業創造科	企画科	情報企画科	ビジネス学	企画経営科
京都すばる		220	110	110			
木 津		40			40		
大 江		40				40	
網 野		26					26
合 計		326	110	110	40	40	26

キ 水産に関する学科

(単位 人)

高等学校名	学科名	合計
海 洋	海洋学科群 (海洋科学科・海洋工学科 ・海洋資源科)	95

備考 海洋科学科、海洋工学科及び海洋資源科については、海洋学科群での募集とする。

ク 家庭に関する学科

(単位 人)

高等学校名 (分校名)	学科名	合計
峰山(弥栄)	家政科	(40)

備考 峰山高等学校の括弧内の募集定員については、農園芸科及び家政科を併せた定員であり、家政科の定員は20人を標準とする。

ケ 情報に関する学科

(単位 人)

高等学校名	学科名	合計
京都すばる	情報科学科	80

コ 福祉に関する学科

(単位 人)

高等学校名 (分校名)	学科名	合計
京都八幡(南)	介護福祉科	30

サ 体育に関する学科

(単位 人)

学科名	スポーツ 健康科学科
高等学校名 乙 訓	40

シ その他専門教育を施す学科

(単位 人)

高等学校名 (分校名)	学 科 及 び 系 統 名	合 計	文 理 総 合 科	グ ロ ー バ ル 科	京 都		自 然 科 学 科	人 間 科 学 科	リ サ イ エ ン チ ン 科 ス	数 理 科 学 科	京 都 国 際 科	文 理 科 学 科	理 数 探 究 科
					こ す も す 科 自 然 科 学	(自 人 間 科 学 ・ 共 修 科 学)							
山 城		40	40										
鳥 羽		80		80									
嵯 峨 野		200			80	120							
桃 山		80					80						
京都八幡(南)		30						30					
南 陽		80							80				
亀 岡		40								40			
園 部		30									30		
福 知 山		40										40	
西 舞 鶴		40											40
合 計		660	40	80	80	120	80	30	80	40	30	40	40

備考 嵯峨野高等学校の人間科学系統・自然科学系統(共修)については、くくり募集とする。

(2) 単位制による全日制の課程

(単位 人)

高等学校名	学 科 等 名	合 計	普 通 科	普 通 科		専 門 学 科		総 合 学 科
				総 ス 合 ポ 専 攻	専 攻	教 養 科 学 科		
						科 人 文 ・ 社 会	系 自 然 科 学	
洛 北		200	160	40				
城南菱創		240	160			80		
南 丹		180						180
久 美 浜		84						84
合 計		704	320	40		80		264

備考1 洛北高等学校及び城南菱創高等学校の普通科の募集定員については、府の区域の全部を併せた定員であり、当該高等学校の普通科の通学区域以外から入学できる者は、それぞれ80人以内とする。

2 洛北高等学校の普通科(スポーツ総合専攻)の募集定員については、府の区域の全部を併せた定員であり、京都市・乙訓通学圏及び口丹通学圏以外の通学圏から入学できる者は、20人以内とする。

3 城南菱創高等学校の人文・社会科学系統及び自然科学系統については、くくり募集とする。

4 南丹高等学校の募集定員については、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和東町、精華町、南山城村、亀岡市、南丹市及び京丹波町の全部を併せた定員であり、亀岡市以外の地域から入学できる者は60人以内とする。そのうち、京都市(周山中学校の通学区域を除く。)、向日市、長岡京市、大山崎町、宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和東町、精華町及び南山城村から入学できる者は、10人以内とする。

2 定時制の課程の募集定員

(1) 定時制の課程（単位制による課程を除く。）

ア 昼間

(単位 人)

高等学校名	分校名	募集定員	学科名
北 桑 田	美山	40	農業科・家政科
福 知 山	三和	40	農業科・家政科
宮 津	伊根	40	普通科
網 野	間人	40	普通科
合 計		160	

備考 北桑田高等学校及び福知山高等学校の募集定員については、農業科及び家政科を併せた定員であり、それぞれの学科の定員は20人を標準とする。

イ 夜間

(単位 人)

高等学校名	分校名	募集定員	学科名
綾 部	東	40	普通科
東 舞 鶴	浮島	40	
合 計		80	

(2) 単位制による定時制の課程

ア 昼間（二部制）

(単位 人)

高等学校名	コース名	募集定員	学科名
清 明	午前	120	普通科
	午後		

備考 募集定員については、午前コース及び午後コースを併せた定員であり、午前コースは60人から90人、午後コースは30人から60人とする。

イ 夜間

(単位 人)

高等学校名	学科名	合計	普通科	商業科
朱 雀		90	90	
鳥 羽		90	90	
桃 山		90	60	30
合 計		270	240	30

3 通信制の課程の募集定員

単位制による通信制の課程

(単位 人)

高等学校名	募集定員	学科名
朱 雀	160	普通科
西 舞 鶴	120	
合 計	280	

資料

平成31年度京都府公立高等学校募集定員（案）について

平成30年8月23日
 高校教育課

1 基本的な考え方

中学校卒業生数の動向及びこれまでの生徒の受入状況・中学生の進路状況を踏まえ、公私協調により高校進学率の維持向上を目指し、適正な受入れを図る。

2 中学校卒業見込生徒数

選抜年度	31	30	増減（31－30）
中学校卒業見込生徒数	19,634人	20,030人	△ 396人

注）生徒数は、平成30年5月1日現在の公立中学3年生数である。

3 公立高等学校募集定員

選抜年度		31	30	増減（31－30）
課程				
全日 制	府 立	10,529人	10,709人	△ 180人
	京都市立	1,530人	1,570人	△ 40人
	公 立 計	12,059人	12,279人	△ 220人
定 時 制	府 立	630人	630人	0人
	京都市立	80人	80人	0人
	公 立 計	710人	710人	0人
通 信 制	府 立	280人	280人	0人
計	府 立	11,439人	11,619人	△ 180人
	京都市立	1,610人	1,650人	△ 40人
	公 立 計	13,049人	13,269人	△ 220人

※募集定員には、洛北高等学校附属中学校、園部高等学校附属中学校、福知山高等学校附属中学校及び市立西京高等学校附属中学校からの内部進学者数を含まない。

4 府立高等学校募集定員の変更点

〈全日制〉			(単位 人)	
変更内容	高 校	学 科 等	募集定員	備 考
定員	洛東	普通科	240	△ 40
	北嵯峨	普通科	280	△ 40
	洛西	普通科	280	△ 40
	宮津	普通科	130	△ 10
	加悦谷	普通科	80	△ 10
	網野	普通科	74	△ 16
			企画経営科	26
募集停止	京都すばる	会計科		△ 120
		企画科		△ 80
		ビジネス探求科		△ 40
	峰山	産業工学科機械系統		△ 30
学科改編	京都すばる	起業創造科	110	110
		企画科	110	110
	峰山	機械創造科	30	30
計				△ 180

【参考1】京都市立高等学校募集定員の変更点

〈全日制〉			(単位 人)	
変更内容	高 校	学 科 等	募集定員	備 考
定員	市立紫野	普通科	200	△ 40
計				△ 40

【参考2】附属中学校からの内部進学者数

〈全日制〉		(単位 人)	
高 校	学 科	内部進学者	備 考
洛北	サイエンス科	80	
園部	普通科	40	
福知山	文理科学科	40	
市立西京	エンタープライジング科	120	
計		280	